

糖尿病外来について

糖尿病の人口と病気

ご存知ですか？現在全世界で糖尿病患者数は4億人以上と言われており、近年爆発的に増加しています。成人において世界人口の11人に1人が糖尿病患者であると推定されています。また、糖尿病患者数において日本は世界第9位となっています。これだけ糖尿病患者数は増加していますが、糖尿病の可能性が高いにもかかわらず、しっかり検査を受けていない為に糖尿病と診断されていない人が約半数もあるとも言われています。

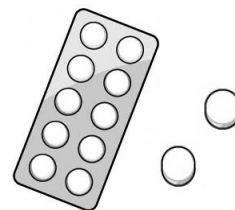
糖尿病は血糖が高い事によって引き起こされる全身の血管が痛む病気です。糖尿病を放置すると末梢神経が痛む神経障害や、失明の原因になってくる網膜症、進行すると透析が必要になってくる糖尿病性腎症などを引き起こしてきますし、脳梗塞などの脳血管障害や心筋梗塞などの虚血性心疾患の発症も起こしやすくなります。長期放置してから治療開始するとこのような病態を予防する事が困難になりますので、できるだけ早い段階から治療を行って血管が痛むのをできるだけ防ぐ事が重要です。

糖尿病の治療

糖尿病も色々種類がありますが、日本人の糖尿病の大多数は2型糖尿病(2型糖尿病とは食べ過ぎ、運動不足などの生活習慣の乱れが原因)です。2型糖尿病では食事や運動療法でまずは生活習慣の改善が基本となり、足りない部分をお薬で調整します。以前はお薬もあまり種類がなく、効果も限られていましたが、最近はかなり多くのお薬が出てきている為、患者さんの生活背景にあったお薬を選ぶ事ができるようになっています。インスリンについても昔はインスリンを始めたらずめられないと巷では言われていた時期もあるようですが、最近では病気の初期の段階でインスリンを使用すれば血糖の状態が早く良くなって飲み薬の治療だけにできる場合も多い事が知られてきています。

糖尿病が進行している場合や糖尿病発症から長期経過している場合はインスリン中止が難しいケースが多いですが、病気の初期であればかなりの高血糖でもインスリン治療を始めたらずめられる事が出来ないわけではありませんので、できるだけ発症の早期の段階で治療開始することが重要です。当院の医師は血糖が500~1000mg/dl程度の高血糖でインスリン開始してから最終的に内服となった患者さんの治療経験が多数あります。早期に治療介入であればこのようにインスリンから離脱できるケースもありますが血糖の悪い状態を長期に続けているとインスリン使用してもなかなかうまくいかないケースが多いですので、できるだけ早期に受診し、必要な治療を早い段階から行いましょう。

金山病院の対応については裏面をご覧ください



金山病院での対応

当院では、日本糖尿病協会療養指導医を持つ医師や日本糖尿病協会認定糖尿病療養指導士(CDEJ)を持つ看護師、栄養士が勤務しており、糖尿病指導や栄養指導を行っております。口渇や体重減少など症状を伴うような状態の場合は入院での治療を行いますが、種々事情により入院が難しい方には注射技術や血糖測定技術を外来にて習得して頂くインスリン外来も行っております。

また、糖尿病の検査で一般的な血糖コントロールの指標として過去1~2ヶ月の平均血糖値をあらわすHbA1cの検査だけでなく、過去数日間の血糖値の変化を示す1,5AGという検査も行っております。この検査は、院内で検査できる医療機関は少ないですが、当院では測定可能であり、当日検査結果をご説明することができます。

市が行う健診、職場の健診でメタボリックシンドローム等要検査の指摘があった方は再検査の受診時、お気軽に医師又は看護師へ相談ください。

検査機器紹介



職員募集のお知らせ

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師、看護補助者の募集を行っております。詳細につきましては、下呂市立金山病院事務課までお問い合わせください。



 下呂市立金山病院

〒509-1693 岐阜県下呂市金山町金山973番地6
TEL 0576-32-2121 / FAX 0576-34-0006
<http://www2.city.gero.lg.jp/HP/kanayamahospital/>